

2022（令和4）年4月入学

徳島大学大学院創成科学研究科
博士後期課程
第2次学生募集要項
(一般入試・社会人特別入試)

徳島大学大学院創成科学研究科

〈総合科学部事務課学務係〉

徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-7108

〈理工学部事務課学務係〉

徳島市南常三島町2丁目1番地

TEL 088-656-7315, 7317

〈生物資源産業学部事務課学務係〉

徳島市南常三島町2丁目1番地

TEL 088-656-8021, 8020

入 試 関 係 日 程

募 集 要 項 公 表	令和3年11月下旬頃
入学資格の資格審査書類提出	令和3年12月17日（金）まで 出願資格(7)(8)に該当する者
障がいのある入学志願者の事前相談	令和3年12月17日（金）まで
出 願 期 間	令和4年1月5日（水）～1月11日（火） （17時必着） 郵送に限る
試 験 日	令和4年1月26日（水）
合 格 発 表	令和4年2月21日（月）11時
入 学 手 続	合格発表後書類送付， 手続は令和4年3月上旬予定

問 合 せ 先 等

〈総合科学部事務課学務係〉
徳島市南常三島町1丁目1番地 TEL 088-656-7108

〈理工学部事務課学務係〉
徳島市南常三島町2丁目1番地 TEL 088-656-7315, 7317

〈生物資源産業学部事務課学務係〉
徳島市南常三島町2丁目1番地 TEL 088-656-8021, 8020

大学院入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

全学

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

（博士後期課程及び博士課程）

- ・広い視野と高度な専門知識・技能を身につけ、自立して研究を遂行し後進を指導する能力、又は当該専門的な職業を牽引できる卓越した能力を修得しようとする人
- ・高い倫理観と強固な責任感、独自の発想力や豊かな創造力、広範な応用力、深い洞察力をもって、地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
- ・高度な国際的視野を有し、世界をリードする研究成果を発信し、高度専門分野を牽引しようとする人

創成科学研究科博士後期課程

創成科学専攻博士後期課程では、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づいてアドミッション・ポリシーを策定している。創成科学専攻博士後期課程では、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえ、高度な専門知識と多角的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人、研究者、あるいは起業家人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求める。

1. 高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考を身につけ、明確な問題意識をもって自立して研究を遂行し、当該専門的な職業に従事できる卓越した能力を修得しようとする人
2. 研究遂行に関わる高い倫理観と強固な責任感を有し、専門分野に関する深い知識と広範な応用力や展開力、独自の発想力や豊かな創造力をもって、他者と協働して地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
3. 高度な国際的視野を有し、世界水準の研究成果を発信し、高度専門分野を牽引して新たな価値の創成のために貢献しようとする人

社会基盤システムプログラム

社会基盤システムプログラムでは、社会基盤学、社会科学、あるいは人文科学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考によって、科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人、研究者、あるいは起業家人材を養成するため、課題に対して自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求める。

1. 社会基盤学、社会科学、あるいは人間科学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考を身につけ、明確な問題意識をもって自立して研究を遂行し、技術の進歩並びに知の深化及び総合化に努めるなど高度専門的な職業に従事できる卓越した能力を修得しようとする人
2. 研究遂行に関わる高い倫理観と強固な責任感を有し、社会基盤学、社会科学、あるいは人間科学分野に関する深い知識と広範な応用力や展開力、独自の発想力や豊かな創造力をもって、他者と協働して地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
3. 高度な国際的視野を有し、世界水準の研究成果を発信し、社会基盤や社会・人間科学に関わる高度専門分野を牽引して新たな価値の創成のために貢献しようとする人

化学生命工学系プログラム

化学生命工学系プログラムでは、化学、あるいは生命工学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考によって、科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人、研究者、あるいは起業家人材を養成するため、課題に対して自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求める。

1. 化学、あるいは生命科学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考を身につけ、明確な問題意識をもって自立して研究を遂行し、技術の進歩並びに知の深化及び総合化に努めるなど高度専門的な職業に従事できる卓越した能力を修得しようとする人
2. 研究遂行に関わる高い倫理観と強固な責任感を有し、化学、あるいは生命科学分野に関する深い知識と広範な応用力や展開力、独自の発想力や豊かな創造力をもって、他者と協働して地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
3. 高度な国際的視野を有し、世界水準の研究成果を発信し、化学、応用化学、あるいは生命科学に関わる高度専門分野を牽引して新たな価値の創成のために貢献しようとする人

械科学系プログラム

機械科学系プログラムでは、機械工学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考によって、科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人、研究者、あるいは起業家人材を養成するため、課題に対して自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求める。

1. 機械工学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考を身につけ、明確な問題意識をもって自立して研究を遂行し、技術の進歩並びに知の深化及び総合化に努めるなど高度専門的な職業に従事できる卓越した能力を修得しようとする人
2. 研究遂行に関わる高い倫理観と強固な責任感を有し、機械工学分野に関する深い知識と広範な応用力や展開力、独自の発想力や豊かな創造力をもって、他者と協働して地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
3. 高度な国際的視野を有し、世界水準の研究成果を発信し、機械工学に関わる高度専門分野を牽引して新たな価値の創成のために貢献しようとする人

電気電子物理科学系プログラム

電気電子物理科学系プログラムでは、電気電子工学、あるいは物理学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考によって、科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人、研究者、あるいは起業家人材を養成するため、課題に対して自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求める。

1. 電気電子工学、あるいは物理学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考を身につけ、明確な問題意識をもって自立して研究を遂行し、技術の進歩並びに知の深化及び総合化に努めるなど高度専門的な職業に従事できる卓越した能力を修得しようとする人
2. 研究遂行に関わる高い倫理観と強固な責任感を有し、電気電子工学、あるいは物理学分野に関する深い知識と広範な応用力や展開力、独自の発想力や豊かな創造力をもって、他者と協働して地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
3. 高度な国際的視野を有し、世界水準の研究成果を発信し、電気電子工学、物理学に関わる高度専門分野を牽引して新たな価値の創成のために貢献しようとする人

知能情報・数理科学系プログラム

知能情報・数理科学系プログラムでは、情報工学、知能工学、あるいは数理科学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考によって、科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人、研究者、あるいは起業家人材を養成するため、課題に対して自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求める。

1. 情報工学・知能工学・数理科学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考を身につけ、明確な問題意識をもって自立して研究を遂行し、技術の進歩並びに知の深化及び総合化に努めるなど高度専門的な職業に従事できる卓越した能力を修得しようとする人
2. 研究遂行に関わる高い倫理観と強固な責任感を有し、情報工学、知能工学、あるいは数理科学分野に関する深い知識と広範な応用力や展開力、独自の発想力や豊かな創造力をもって、他者と協働して地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
3. 高度な国際的視野を有し、世界水準の研究成果を発信し、情報工学・知能工学・数理科学に関わる高度専門分野を牽引して新たな価値の創成のために貢献しようとする人

生物資源学系プログラム

生物資源学系プログラムでは、生物資源学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考によって、科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人、研究者、あるいは起業家人材を養成するため、課題に対して自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求める。

1. 生物資源学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考を身につけ、明確な問題意識をもって自立して研究を遂行し、技術の進歩並びに知の深化及び総合化に努めるなど高度専門的な職業に従事できる卓越した能力を修得しようとする人
2. 研究遂行に関わる高い倫理観と強固な責任感を有し、生物資源学分野に関する深い知識と広範な応用力や展開力、独自の発想力や豊かな創造力をもって、他者と協働して地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
3. 高度な国際的視野を有し、世界水準の研究成果を発信し、生物資源学に関わる高度専門分野を牽引して新たな価値の創成のために貢献しようとする人

光科学系プログラム

光科学系プログラムでは、光科学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考によって、科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人、研究者、あるいは起業家人材を養成するため、課題に対して自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求める。

1. 光科学に関する高度な専門知識・技能と分野横断的な多角的視点に基づいた論理的思考を身につけ、明確な問題意識をもって自立して研究を遂行し、技術の進歩並びに知の深化及び総合化に努めるなど高度専門的な職業に従事できる卓越した能力を修得しようとする人
2. 研究遂行に関わる高い倫理観と強固な責任感を有し、光科学分野に関する深い知識と広範な応用力や展開力、独自の発想力や豊かな創造力をもって、他者と協働して地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
3. 高度な国際的視野を有し、世界水準の研究成果を発信し、光科学に関わる高度専門分野を牽引して新たな価値の創成のために貢献しようとする人

【一般入試】

1 募集人員

専攻	プログラム	募集人員
創成科学専攻	社会基盤システムプログラム	若干人
	化学生命工学系プログラム	
	機械科学系プログラム	
	電気電子物理科学系プログラム	
	知能情報・数理科学系プログラム	
	生物資源学系プログラム	
	光科学系プログラム	

注 募集人員の中には、社会人特別入試の若干人及び外国人留学生特別入試の若干人を含みます。

2 出願資格

出願することができる者は、次のいずれか一つに該当する者としてします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2022年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により上記(1)に規定する者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年3月31日までに24歳に達する者

出願資格(7)、(8)の認定について

- 1 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は、次の①及び④の要件を満たす者であること。

出願資格(8)に定める「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」の範囲は、次の②又は③及び④の要件を満たす者であること。

- ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者であること。
- ② 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された後、科学・技術・地域・環境・心理臨床・医療関係分野で2年以上の業務経験があること。
- ③ 短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校の卒業後又はその他の教育施設の修了

後、大学、企業及び公設の研究所等において4年以上研究に従事するか、又は科学・技術・地域・環境・心理臨床・医療関係分野で4年以上の業務経験があること。

④ 著書、学術論文、学術講演、学術報告及び特許等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。

2 出願書類は、本研究科において入学試験出願資格認定審査が終了するまで、その受理を保留します。

該当する志願者は、「最終学歴の卒業証明書」及び「入学試験出願資格認定審査調書」（本研究科所定の用紙）及び「研究業績調書」（本研究科所定の用紙）に論文の別刷等を添付し、令和3年12月17日(金)までに総合科学部事務課学務係に提出してください。

3 入学者の選抜方法

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、口述試験及び書類審査の結果を総合して行います。

(2) 検査科目、試験日時及び場所

プログラム	1月26日(水)		場 所
	科 目	時 間	
社会基盤システムプログラム	英語(注3)・口述試験	9:00~	徳島大学 常三島キャンパス (徳島市南常三島町) 試験室等については、別途通知します。
化学生命工学系プログラム			
機械科学系プログラム			
電気電子物理科学系プログラム			
知能情報・数理科学系プログラム			
生物資源学系プログラム			
光科学系プログラム			

(注1) 口述試験の内容

口述試験は、志望する研究分野に関連する科目、修士論文(修士課程修了見込みの者については修士論文研究の進捗状況)、研究業績調書、研究計画書等の内容について行います。社会基盤システムプログラム(学術)は口頭発表を含みます。

(注2) 口述試験の時間

口述試験の開始時間については別途通知します。

(注3) 英語は、口述試験で行いますが、TOEIC 又は TOEFL の成績通知書を提出した場合にはこれを免除することがあります。

(注4) 天候等の理由により実施日時を変更する場合があります。

4 障がいのある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、次のとおり総合科学部事務課学務係に申し出てください。

(1) 時 期

令和3年12月17日(金)まで

(注) 受験上及び修学上の配慮の方法等を検討する必要がありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

(2) 方 法

次の①～⑧を記載した書類（様式は任意）を提出してください。

- ① 氏名，生年月日
- ② 志望プログラム
- ③ 現住所，電話番号及び保護者の連絡先
- ④ 障がいの種類，程度（後日，健康診断書の提出を依頼する場合があります。）
- ⑤ 受験の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑥ 修学の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑦ 出身学校在学中にとられていた配慮及び出身学校名
- ⑧ 日常生活の状況等

5 出願手続

(1) 願書受付期間及び出願方法

① 願書受付期間

令和4年1月5日(水)から令和4年1月11日(火) (17時必着)

② 出願方法

【郵送に限ります】

出願書類等は本募集要項添付の封筒を使用し，必ず「簡易書留・速達」としてください。願書受付期間を過ぎた場合は，受理しませんので，郵送期間を十分考慮のうえ，送付してください。

宛 先：〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地
徳島大学総合科学部事務課学務係

電話 088-656-7108 Fax 088-656-9314

③ 募集要項の請求

願書を郵便で請求する場合は，あて名を明記し，390円切手を貼った返信用封筒（角2封筒33.2cm×24.0cm）を同封してください。

④ 出願手続き等に不明の点がある場合は，総合科学部事務課学務係に照会してください。

(2) 出願書類等

書類等の種別	該当者	記入方法, 注意事項等
入学志願票 受験票, 写真票	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票及び写真票には上半身, 脱帽, 正面向きで同一の写真 (縦4 cm×横3 cm, 最近撮影した 本人確認が可能なもの) を貼ってください。
修了 (見込) 証明書	本学研究科又は本学教育部博士前期課程修了者及び修了見込者	不要。
	上記以外	必要。出身大学長 (研究科長) が作成した修士課程修了証明書。ただし, 2022 年3月修了見込みの者は, 修士課程修了見込み証明書が必要。
成績証明書 (学部及び大学院)	全 員	出身大学長 (学部長及び研究科長) が作成し, 厳封したもの。
修士学位論文要旨	全 員	所定の用紙に, 2,000 字以内で記入してください。ただし, 修士課程修了見込みの者は, 修士論文の研究題目とその研究の進捗状況について要約してください。なお, 関連した論文の別刷又は学術講演, 特許等がある場合は, そのコピーを添付してください。
研究業績調書	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者は, 所定の用紙 (本学生募集要項とじ込み) に, 著書, 学術論文, 学術講演, 学術報告, 特許及び実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。なお, 関連した論文の別刷等の資料を添付してください。
研究計画書	全 員	研究を希望するテーマあるいは分野について, その目的及び構想を, 研究指導を希望する教員と相談の上, 所定の用紙に, 1000 字以内で記入してください。
推薦書	任 意	所定の用紙に必要事項を記入した上, 原則として出身大学の指導教員が作成し, 厳封したもの。
口頭発表資料	社会基盤システムプログラム (学術) 出願者	A 4 版2枚以内で, 自分の研究テーマに関わる内容の口頭発表用資料を9部 (様式自由, カラー刷り可) 作成し提出してください。
TOEIC 「公式認定証」 又は TOEFL 「受験者用控えスコア票」 又は TOEFL 「公式スコアレポート」	任 意	TOEIC は "Official Score Certificate" (公式認定証) , TOEFL は "Examinee' s Score Record" (受験者用控えスコア票) 又は "Official Score Report" (公式スコアレポート) の原本を出願時に提出するものとし, 団体受験用の TOEIC (IP) 及び TOEFL (ITP) のスコアは受け付けません。 TOEIC の公式認定証は「TOEIC® Listening & Reading Test」又は「TOEIC®テスト」に限ります。TOEIC® Speaking & Writing Tests、TOEIC® Speaking Test、TOEIC® Writing Test、TOEIC Bridge® Test 及び団体受験用 (IP) の公式認定証は受け付けません。社会基盤システムプログラム (工学) 及び機械科学系プログラムは, 出願時において2年前までの日付を有効期限とします。

受験許可書	現に大学院博士後期課程に在籍中の者	所定の用紙に所属長の許可を得て提出。
検定料払込証明書	・本学研究科又は教育部の修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本課程に進学する者 ・外国人志願者のうち日本政府（文部科学省）国費留学生	不要。
	上記以外	検定料は30,000円です。所定の用紙により、検定料を最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。ゆうちょ銀行又は郵便局で検定料払込時に受領した「検定料払込証明書（出願用）」を、「検定料払込証明書（本学所定）」に貼って提出してください。
あて名票	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
受験票送付用封筒	全 員	所定の封筒に、受領する場所の郵便番号、住所 氏名を明記し、344円分の郵便切手を所定の箇所に貼ってください。

(3) 出願に際しての注意

- ① 願書受付期間を過ぎて到着した出願書類は受理しません。郵送期間を十分考慮のうえ、送付してください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。また、出願後は、原則として記載事項の変更を認めません。
- ③ 入学志願票等の出願書類の記入ミスは訂正印で訂正してください。修正液・修正テープでの訂正は受付不可です。また、入学志願票等の出願書類には「消せるボールペン」や鉛筆・シャープペンシルなどの訂正が容易にできる筆記用具は使用しないでください。
- ④ 出願書類を受け付けた受験者に対しては、後日試験室の案内とともに受験票を送付します。
- ⑤ 受理した出願書類及び入学検定料は、原則として返還しません。
- ⑥ 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 出願後、「合格通知送付先」に変更があった場合には、速やかに連絡してください。
- ⑧ 中国の高等教育機関を卒業し、本学研究生等に在籍経験のない出願者は、学歴証明をオンラインで確認しますので、中国高等教育学生情報網 (<http://www.chsi.com.cn>) で照会番号を取得し、願書に記載してください。
- ⑨ TOEFL DI Code は、「D013」です。

6 合格者の発表

合格者の受験番号を次のとおり発表するとともに、合格者あてに文書で通知します。
なお、電話等による可否の問い合わせには応じられません。

発 表 日 時	発 表 方 法
令和4年2月21日(月) 11時	ホームページにて掲載 https://www.tokushima-u.ac.jp/ias/ https://www.tokushima-u.ac.jp/st/ https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/

入学許可の取消し

合格者が、入学手続き完了後に、見込まれていた入学資格を取得できなかった場合等には、入学許可を取り消します。

7 入学手続

合格者は、入学手続期間内に郵送により、手続きを行ってください。

入学手続に必要な書類等は、合格通知に同封し入学手続期間前に郵送で送付します。

授業料等学生納付金

(1) 入 学 料 282,000円

ただし、本学大学院研究科等の博士前期課程を修了し、引き続き本課程に進学する者及び外国人志願者のうち日本政府（文部科学省）国費留学生は不要。

(2) 授 業 料 前期分 267,900円 年 額 535,800円

ただし、外国人志願者で日本政府（文部科学省）国費留学生は不要。

(注1) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(注2) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて納付できます。

(注4) 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる者又は風水害等の特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

(3) その他の経費として後援会費、学生教育研究災害傷害保険料等若干の経費が必要です。

8 個人情報の取扱い

(1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理します。

① 入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務

② 合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金援助、就職支援等）、授業料等に関する業務

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究（入試の改善や志願動向の調査、分析等）のために利用します。

【社会人特別入試】

本研究科においては、官公庁、企業等に勤務している社会人の高等教育への要望に対応し、開かれた研究科として社会に役立つ研究と技術開発の推進を計るため、本研究科に社会人を受け入れることを実施しています。

1 募集人員

専攻	プログラム	募集人員
創成科学専攻	社会基盤システムプログラム	若干人
	化学生命工学系プログラム	
	機械科学系プログラム	
	電気電子物理科学系プログラム	
	知能情報・数理科学系プログラム	
	生物資源学系プログラム	
	光科学系プログラム	

2 出願資格

下記のいずれか一つに該当し、各種の研究機関、教育機関、企業等に原則として1年以上正規職員として勤務している研究者又は技術者で、入学後もその身分を有し、所属長より推薦を受けた者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2022年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により上記(1)に規定する者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに24歳に達する者

出願資格(7)、(8)の認定について

- 1 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は、次の①及び④の要件を満たす者であること。

出願資格(8)に定める「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」の範囲は、次の②又は③及び④の要件を満たす者であること。

- ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者であること。
- ② 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された後、

科学・技術・地域・環境・心理臨床・医療関係分野で2年以上の業務経験があること。

③ 短期大学，高等専門学校，専修学校及び各種学校の卒業後又はその他の教育施設の修了後，大学，企業及び公設の研究所等において4年以上研究に従事するか，又は科学・技術・地域・環境・心理臨床・医療関係分野で4年以上の業務経験があること。

④ 著書，学術論文，学術講演，学術報告及び特許等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。

2 出願書類は，本研究科において入学試験出願資格認定審査が終了するまで，その受理を保留します。

該当する志願者は，「最終学歴の卒業証明書」及び「入学試験出願資格認定審査調書」（本研究科所定の用紙）及び「研究業績調書」（本研究科所定の用紙）に論文の別刷等を添付し，令和3年12月17日（金）までに総合科学部事務課学務係に提出してください。

3 入学者の選抜方法

(1) 選抜方法

入学者の選抜は，口述試験及び書類審査の結果を総合して行います。

(2) 検査科目，試験日時及び場所

コース	1月26日（水）		場 所
	科 目	時 間	
社会基盤システムプログラム	口述試験	9：00～	徳島大学 常三島キャンパス （徳島市南常三島町） 試験室等については，別途 通知します。
化学生命工学系プログラム			
機械科学系プログラム			
電気電子物理科学系プログラム			
知能情報・数理科学系プログラム			
生物資源学系プログラム			
光科学系プログラム			

(注1) 口述試験の内容

修士論文，研究業績調書，志望理由書，研究計画書等の内容について行います。
社会基盤システムプログラム（学術）は口頭発表を含みます。

(注2) 口述試験の時間及び試験室

口述試験の開始時間及び試験室については別途通知します。

(注3) 天候等の理由により実施日時を変更する場合があります。

4 障がいのある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は，次のとおり総合科学部事務課学務係に申し出て
ください。

(1) 時 期

令和3年12月17日（金）まで

注 受験上及び修学上の配慮の方法等を検討する必要がありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

(2) 方 法

次の①～⑧を記載した書類（様式は任意）を提出してください。

- ① 氏名，生年月日
- ② 志望プログラム
- ③ 現住所，電話番号及び保護者の連絡先
- ④ 障がいの種類，程度（後日，健康診断書の提出を依頼する場合があります。）
- ⑤ 受験の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑥ 修学の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑦ 出身学校在学中にとられていた配慮及び出身学校名
- ⑧ 日常生活の状況等

5 出願手続

(1) 願書受付期間及び出願方法

① 願書受付期間

令和4年1月5日(水)から令和4年1月11日(火) (17時必着)

② 出願方法

【郵送に限ります】

出願書類等は本募集要項添付の封筒を使用し，必ず「簡易書留・速達」としてください。願書受付期間を過ぎた場合は，受理しませんので，郵送期間を十分考慮のうえ，送付してください。

宛 先：〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地
徳島大学総合科学部事務課学務係
電話 088-656-7108 Fax 088-656-9314

③ 募集要項の請求

願書を郵便で請求する場合は，あて名を明記し，390円切手を貼った返信用封筒（角2封筒 33.2 cm×24.0 cm）を同封してください。

④ 出願手続き等に不明の点がある場合は，総合科学部事務課学務係に照会してください。

(2) 出願書類等

書類等の種別	該当者	記入方法, 注意事項等
入学志願票 受験票	全 員	所定の用紙に必要な事項を記入してください。入学志願票及び受験票には上半身, 脱帽, 正面 向きで同一の写真 (縦 4 cm×横 3 cm, 最近撮影した本人確認が可能なもの) を貼ってください。
修了証明書	本研究科・本教育部博士前期 課程修了者	不要。
	上記以外	必要。出身大学長 (研究科長) が作成した修士 課程修了証明書。
成績証明書 (学部及び大学院)	全 員	出身大学長 (学部長及び研究科長) が作成し, 厳封したもの。
修士学位論文要旨	全 員	所定の用紙に, 2000 字以内で記入してください。なお, 関連した論文の別刷又は学術講演, 特許等がある場合は, そのコピーを添付してください。
研究業績調書	修士論文に関連したものの他に 研究業績を有する者	修士論文に関連したものの他に研究業績を有する者は, 所定の用紙 (本学生募集要項とじ込み) に, 著書, 学術論文, 学術講演, 学術報告, 特許及び実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。なお, 関連した論文の別刷等の資料を添付してください。
研究計画書	全 員	研究を希望するテーマあるいは分野について, その目的及び構想を, 研究指導を希望する教員と相談の上, 所定の用紙に 1000 字以内で記入してください。
口頭発表資料	社会基盤システムプログラム (学術) 出願者	A 4 版 2 枚以内で, 自分の研究テーマに関わる内容の口頭発表用資料を 9 部 (様式自由, カラー刷り可) 作成し提出してください。
推薦書	勤務先で所属長の職にある者 以外	所定の用紙に, 勤務先の所属長又はこれに準ずる者が作成し, 厳封したもの。
志望理由書	全 員	所定の用紙に, 本研究科に入学し, 勉学, 研究を行いたいと考えた動機及び目的を, 所定の用紙に, 1,000 字以内で記入してください。
受験許可書	勤務先で所属長の職にある者 以外	所定の用紙に勤務先の所属長 (又はこれに準ずる者) の許可を得て提出してください。
検定料払込証明書	・本学研究科又は教育部の 修士課程又は博士前期課程を修了し, 引き続き本課程に進学する者 ・外国人志願者のうち日本政府 (文部科学省) 国費留学生	不要。
	上記以外	検定料は 30,000 円です。所定の用紙により, 検定料を最寄りの ゆうちょ銀行 又は 郵便局窓口 から払い込んでください。ゆうちょ銀行又は 郵便局で検定料払込時に受領した「検定料払込 証明書 (出願用)」を, 「検定料払込証明書 (本学所定)」に貼って提出してください。
あて名票	全 員	所定の用紙に必要な事項を記入してください。

受験票送付用封筒	全 員	所定の封筒に、受領する場所の郵便番号、住所 氏名を明記し、344円分の郵便切手を所定の箇所に貼ってください。
----------	-----	--------------------------------------------------------

注 出願資格(7)、(8)に該当する者は、「修了証明書」、「大学院成績証明書」及び「修士学位論文要旨」を提出しなくてかまいません。また、「研究業績調書」も既に提出済のため、再提出しなくてかまいません。

(3) 出願に際しての注意

- ① 願書受付期間を過ぎて到着した出願書類は受理しません。郵送の場合は郵送期間を十分考慮のうえ、送付してください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。また、出願後は、原則として記載事項の変更を認めません。
- ③ 入学志願票等の出願書類の記入ミスは訂正印で訂正してください。修正液・修正テープでの訂正は受付不可です。また、入学志願票等の出願書類には「消せるボールペン」や鉛筆・シャープペンシルなどの訂正が容易にできる筆記用具は使用しないでください。
- ④ 出願書類を受け付けた受験者に対しては、後日試験室の案内とともに受験票を送付します。
- ⑤ 受理した出願書類及び入学検定料は、原則として返還しません。
- ⑥ 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 出願後、「合格通知送付先」に変更があった場合には、速やかに連絡してください。
- ⑧ TOEFL DI Code は、「D013」です。

6 合格者の発表

合格者の受験番号を次のとおり発表するとともに、合格者あてに文書で通知します。
なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

発表日時	発表方法
令和4年2月21日(月) 11時	ホームページにて掲載 https://www.tokushima-u.ac.jp/ias/ https://www.tokushima-u.ac.jp/st/ https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/

入学許可の取消し

合格者が、入学手続き完了後に、見込まれていた入学資格を取得できなかった場合等には、入学許可を取り消します。

7 入学手続

合格者は、入学手続期間内に郵送により、手続を行ってください。
入学手続に必要な書類等は、合格通知に同封し入学手続期間前に郵送で送付します。

授業料等学生納付金

- (1) 入 学 料 282,000 円

ただし、本学研究科又は教育部の修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本課程に進学する者及び外国人志願者のうち日本政府（文部科学省）国費留学生は不要。

- (2) 授 業 料 前期分 267,900 円
年 額 535,800 円

(注1) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(注2) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて納付できます。

(注4) 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる者又は風水害等の特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

- (3) その他の経費として後援会費、学生教育研究災害傷害保険料等若干の経費が必要です。

8 個人情報取扱

- (1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理します。

① 入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務

② 合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金援助、就職支援等）、授業料等に関する業務

- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究（入試の改善や志願動向の調査、分析等）のために利用します。

9 学修と研究及び教育方法の特例について

学修と研究について

入学後は学則に定められた教育課程に基づき、原則として研究科担当教員の指導の下で、学修と研究に専念するものとします。

なお、入学後の身分（現職、休職）は、当該官公庁・企業等の定めるところによることとし、プログラムによっては、勤務地等が通学可能距離にある場合、昼夜開講等弾力的に対処する場合があります（下記の特例による教育参照）。また、博士論文を作成する場合、指導教員の許可を受け、かつ、その指導の下で、勤務先での研究課題を取り上げ、その設備、機器等を使用して研究を行うことも場合により可能です。

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育について

通常、官公庁・企業等において勤務している社会人研究者・技術者が博士後期課程で学ぶ場合、3年間完全に勤務を離れ、学業に専念することになります。この修学条件を満たすことが難しい社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上 特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されているため、この制度を利用して教育方法の特例を実施します。

長期履修学生制度について

学生が職業を有しているなどの事情により、通常の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られるため、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する者に対して、申請に基づき、大学が審査し、その長期にわたる計画的な履修を認め、その在学期間中の授業料の負担を軽減することができる制度です。詳細は指導教員に照会してください。

創成科学研究科の概要

1 創成科学研究科の構成

本研究科の博士後期課程は創成科学専攻 1 専攻， 7つのプログラムで構成されています。

創成科学研究科博士後期課程 創成科学専攻



プログラム	学位及び専攻分野
社会基盤システムプログラム	博士（学術）または博士（工学）
化学生命工学系プログラム	博士（工学）
機械科学系プログラム	博士（工学）
電気電子物理科学系プログラム	博士（工学）
知能情報・数理科学系プログラム	博士（工学）
生物資源学系プログラム	博士（農学）
光科学系プログラム	博士（工学）

2 プログラムの概要

【社会基盤システムプログラム】

社会基盤システムプログラムでは中長期的な産業界や社会ニーズを踏まえ、社会基盤分野や社会・人間科学に関する最新の基盤技術・基幹技術・先端技術を理解し、グローバルな視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人・研究者・起業家人材を養成する。

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野 (願書記入時の学位の分野)
日本、東アジア地域の民俗文化の形態や構造、変化に関する文化人類学・民俗学的分析	教授 高橋 晋一	学術
生活習慣病／介護予防に関連した運動・リハビリテーションの考案	教授 三浦 哉	学術
持続可能な地域社会形成のために、参与観察やアクションリサーチを通じての都市社会学や地域社会学的視点からの実証分析の研究	教授 矢部 拓也	学術
ガバナンス時代における政府の役割と機能、および政府と市民社会との関係性に関する政策分析	准教授 小田切康彦	学術
自律的まちづくりのプロセスデザイン	准教授 田口 太郎	学術または工学
環境と人間の関係に関する人類学的な視点や方法論に基づく実証研究やその応用についての研究	准教授 内藤 直樹	学術
臨床心理学、情報学、および認知神経科学のアプローチを融合した心身の健康増進に寄与する手法の開発	准教授 山本 哲也	学術
情報工学の手法を用いた心理現象の解明	准教授 横谷 謙次	学術
テクトニクス、構造地質学、海嶺沈み込みと火成作用、付加体発達史	教授 安間 了	工学
コンクリート構造物の劣化メカニズムとその診断方法、および様々な劣化状態に対して効果的な補修工法や補強工法	教授 上田 隆雄	工学
建築計画学分野における建築物の長寿命化を目的とした旧耐震木造住宅の耐震化の推進、遊休不動産の利活用	教授 小川 宏樹	工学
災害にも強く環境的にも持続可能な都市環境形成のための交通現象解析、都市交通政策評価、都市構造評価	教授 奥嶋 政嗣	工学または学術
生態系を活用した地域づくりを行ってゆくための、生態系の評価・管理手法、合意形成・協働・ガバナンス等の社会システム分析	教授 鎌田 磨人	工学または学術
里海の環境保全および地域防災に関する研究	教授 上月 康則	工学または学術
地盤防災・斜面防災分野における新たな予測・解析手法の開発、および災害調査研究に基づく減災対策法の考案	教授 蔣 景彩	工学
SDGs に貢献できるコンクリート材料やコンクリート施工の高性能化	教授 橋本 親典	工学
津波発生のメカニズム、津波の伝播・遡上の物理、津波被害軽減に関する研究	教授 馬場 俊孝	工学または学術
流況・流砂解析に基づく河道の地形形成プロセスの解明、およびその応用による流域の環境保全と防災に関する河道管理技術の開発	教授 武藤 裕則	工学または学術
野外調査や偏光顕微鏡観察等に基づく構造地質学的・岩石学的解析、及びその応用による変成作用論や造構運動論	准教授 青矢 睦月	工学
土質材料の物理的および力学的特性についての理解と、地盤の変形・破壊に関する防災、施工、維持管理	准教授 上野 勝利	工学または学術

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野(願書記入時の学位の分野)
生物の分布と環境要因の解析による生態系の評価手法の考案, 及び生態系の修復や管理方法の提案	准教授 河口 洋一	工学または学術
森林の水源涵養機能の定量評価手法, 森林域の開発や保全が流域水循環や流域防災に与える影響評価	准教授 田村 隆雄	工学または学術
簡易地震計を用いた既存建造物のシステム同定手法の開発, およびその応用による対象地域の建造物のモデル化	准教授 中田 成智	工学
岩石の風化と, 岩石の風化帯で生じる地すべりに関する応用地質学的研究	准教授 西山 賢一	工学
持続可能なまちを実現するための GIS を活用したデータ分析手法とそれを用いた都市計画, 都市設計手法に関する研究	准教授 渡辺公次郎	工学または学術
非破壊試験およびパターン認識によるコンクリートの品質, 劣化および補修効果の評価	准教授 渡邊 健	工学
免震・制振建築物および木造建築物の耐震性能評価, 補強工法の開発や地震被害低減手法の提案	講 師 白山 敦子	工学
沿岸域での持続可能な地域づくりとその社会実装のための, 工学的・社会的な技術の開発	講 師 山中 亮一	工学または学術
災害弱者の避難行動における課題解決, 災害時の社会福祉施設におけるリスクマネジメント	助 教 金井 純子	工学または学術

【化学生命工学系プログラム】

化学生命工学系プログラムでは中長期的な産業界や社会ニーズを踏まえ、化学工学や生命工学に関する最新の基盤技術・基幹技術・先端技術を理解し、グローバルな視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人・研究者・起業家人材を養成する。

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野(願書記入時の学位の分野)
環境・生体・食品・材料などの分野において微量元素分析法および分析装置の開発, 応用	教 授 今井 昭二	工学
様々な生物活性を有する有機化合物の分子設計・合成と機能解析	教 授 宇都 義浩	工学
新規有機遷移金属化合物の合成, およびそれらを均一系触媒として利用する新規高選択的分子変換反応の開発	教 授 小笠原正道	工学
赤外分光や放射光分光など光物性の手法による数万気圧から数 10 万気圧の高圧力下における物性研究	教 授 岡村 英一	工学
環境に低負荷の物質生産システムの開発, 微粒子の性質を生かした分離材料および分離プロセスの開発	教 授 加藤 雅裕	工学
機器分析の手法を用いた微量物質の化学計測, 類似化合物の精密分離, 機能性物質の物性に関する分離法・分析法の開発	教 授 高柳 俊夫	工学
発生ゲノム科学分野における種々の内外環境要因間の相互作用の影響, およびそれらに対するゲノム情報の発現制御機能	教 授 真壁 和裕	工学
両親媒性物質の自己組織化集合体が示す構造変化と機能発現	教 授 松木 均	工学
機能性有機材料・高分子材料および複合材料の合成と物性ならびに機能性の評価	教 授 南川 慶二	工学
新しい反応試剤の開発, 並びに新しい有機合成手法の開発を行うとともに, その知見を基にした新規機能性有機化合物の合成	教 授 三好 徳和	工学
放射線化学と光電気化学の手法を用いた機能性ナノ粒子の調製, 放射線及び放射性同位元素の高感度検出による放射線エネルギー変換物質の開発	教 授 三好 弘一	工学
無機材料が示す特異な電氣的・光学的性質の測定とその特異な性質を発現する無機材料の合成, 結晶構造および電子状態解析	教 授 森賀 俊広	工学
電気化学測定法並びにバイオマテリアル等の機能性材料技術を組み合わせた生体内モニタリング用バイオセンサの開発	教 授 安澤 幹人	工学
両生類胚をモデル動物とした遺伝子の機能解析についての新しい手法の開発とその応用	教 授 渡部 稔	工学
セルロース系バイオマスの有効利用を目指した, エネルギー, マテリアルへの変換工学	准教授 浅田 元子	工学
触媒機能を有する有機分子や高分子材料の設計を中心としたグリーン・サステイナブルケミストリーに資する有機合成法の開拓	准教授 荒川 幸弘	工学
環境に配慮した実践的な有機合成反応の開発を中心とした効率的な医薬品及び機能性分子の創製, および工業運用可能な反応の開発	准教授 上野 雅晴	工学
細胞運命を制御する新たな仕組みの解明とセルエンジニアリングへの応用と治療法の開発	准教授 岸本 幸治	工学
微生物等の生物制御に資する光と天然由来の様々な有機化合物の機能解析	准教授 白井 昭博	工学

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野(願書記入時の学位の分野)
光学顕微鏡のその場観察によるタンパク質およびサブミクロン粒子の結晶成長機構の解明, および放射光施設等 X 線結晶構造解析によるタンパク質の分子構造の詳細解析	准教授 鈴木 良尚	工学
微生物由来機能性分子の遺伝子的・構造的・機能的特性の解明, および医薬理工学的応用	准教授 田端 厚之	工学
生体由来および非天然型の様々な両親媒性分子が水性環境下で形成する自己組織化膜の構造と物性	准教授 玉井 伸岳	工学
細菌が保有する病原因子や酵素の機能解析, およびそれらの成果の医療や産業への応用	准教授 友安 俊文	工学
環境微生物において, 遺伝情報の伝達に関わる重要なタンパク質と酵素の構造と機能の解明, および微生物材料を利用した応用開発	准教授 平田 章	工学
立体構造やモノマー連鎖などの一次構造の制御されたポリマーを与える重合反応や高分子反応の開発	准教授 平野 朋広	工学
化学工学, 吸着科学を基礎とした吸着分離に適用する機能性吸着剤の開発および吸着現象の解明	准教授 堀河 俊英	工学
環境分析, 臨床検査, 品質管理における新たな測定原理の創出と, 分析機器・化学計測手法の開発	准教授 水口 仁志	工学
機能性無機材料の合成, 熱的・電気的特性の評価, 物性を構造化学的に解明するための X 線分析を主とした結晶構造解析	准教授 村井啓一郎	工学
有機化学を基盤とする, 有機エレクトロニクス及び医薬品への応用を志向した光機能性材料の創製	准教授 八木下史敏	工学
有機化学・物理化学に基づいて, 生体内で機能する独創的な化学プローブの創製とそれらの機能と有効性	准教授 山田 久嗣	工学
セラミックス系材料を中心とした固体触媒の開発, 機能性発現機構解明, 反応速度論, および物理科学計測	准教授 山本 孝	工学
様々な生体反応において重要な役割を担うタンパク質およびその関連因子の調節機構と機能	准教授 湯浅 恵造	工学
天然物由来の原料を用いた生分解性ポリマーの合成, 生物・医学分野での利用を指向した新規機能性材料の開発	講 師 押村 美幸	工学
様々な精密有機合成の手法を用いた反応の活性化および各種選択的反応の開発, 生理活性を志向した複素環化合物合成	講 師 西内 優騎	工学
液体, 溶液, 超臨界流体中の分子の構造や動態を対象とした, 核磁気共鳴分光法および分子動力学計算による解析手法の開発	講 師 吉田 健	工学

【機械科学系プログラム】

機械科学系プログラムでは中長期的な産業界や社会ニーズを踏まえ、機械工学に関する最新の基盤技術・基幹技術・先端技術を理解し、グローバルな視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人・研究者・起業家人材を養成する。

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野 (願書記入時の学位の分野)
生産加工分野における新規な手法の研究開発とその成果の応用による革新的な生産加工法の確立	教 授 石田 徹	工学
流体流れの層流－乱流遷移の解明と新しい測度の開発	教 授 一宮 昌司	工学
複雑特性を有する流体の流れ，気液二相流れ，相変化を伴う混相流れの解明	教 授 太田 光浩	工学
結晶粒界や粒界三重線が金属の塑性変形に及ぼす影響	教 授 岡田 達也	工学
エネルギーの有効利用と環境保全に関わる燃焼の高効率化，低汚染燃焼に関する研究	教 授 木戸口善行	工学
ソフトロボティクスを中心とする柔軟メカニカルシステムの開発と人間支援分野への効果的な運用手法の構築	教 授 高岩 昌弘	工学
材料科学分野における新しいエコマテリアルの開発，およびその特性評価と産業応用	教 授 高木 均	工学
CT 半導体レーザ吸収法，レーザ誘起ブレイクダウン法などの先端計測法を用いたレーザ応用計測技術の基礎技術開発と産業応用	教 授 出口 祥啓	工学
超音波波動理論に基づく材料評価法と非破壊検査手法の開発	教 授 西野 秀郎	工学
エネルギー変換効率を向上させる熱エネルギーおよびその制御に関する研究	教 授 長谷崎和洋	工学
振動解析および制振手法に関連する最新の事例を取り上げ，振動特性を考慮した構造変更等の設計手法の高度化	教 授 日野 順市	工学
先端的手法を用いた実測およびモデル論的考察に基づく生体機能の発現と破綻に関与する力学環境の解明と治療応用	教 授 松本 健志	工学
表面処理技術を中心とした各種手法による材料の高強度化，高機能化	教 授 米倉 大介	工学
高効率エネルギー変換技術に関する電気化学デバイス（蓄電池，燃料電池，固体照明）を取り上げ，無機固体材料におけるイオン・電子の移動現象の解明	准教授 大石 昌嗣	工学
実験と数値流れ解析を用いた流体機械と再生可能エネルギーに関する研究	准教授 重光 亨	工学
材料科学分野における新しいバイオ素材に基づく材料の開発，およびその作成工程，特性評価と応用	准教授 NAKAGAITO ANTONIO NORIO	工学
数値シミュレーションおよび実験結果に基く，燃焼炉における環境汚染物質の発生メカニズムの解明と抑制技術の開発	准教授 名田 譲	工学
無人機システムの社会実装を目指した研究	准教授 三輪 昌史	工学

【電気電子物理科学系プログラム】

電気電子物理科学系プログラムでは中長期的な産業界や社会ニーズを踏まえ、電気電子工学や物理学に関する最新の基盤技術・基幹技術・先端技術を理解し、グローバルな視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人・研究者・起業家人材を養成する。

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野(願書記入時の学位の分野)
素粒子の理論的なモデルや宇宙初期におけるインフレーションの理論の研究	教授 井澤 健一	工学
電力機器設備における絶縁診断のための電磁波センシング技術, 電磁波解析技術, 信号処理技術の開発	教授 川田 昌武	工学
強結合超伝導体や強相関電子系物質における超伝導状態の核磁気共鳴法による解明	教授 岸本 豊	工学
各種のむだ時間を含む系を対象とした制御系設計理論, および関連する制御応用	教授 久保 智裕	工学
集積回路設計等の各種設計分野に存在する最適化問題に対する求解法等	教授 島本 隆	工学
パルスパワーの環境やバイオ分野等の応用研究・開発, およびパルスパワーの発生・計測技術の開発	教授 下村 直行	工学
光信号伝搬解析, 光ノード構成技術, 光信号処理技術, 及びそれらを用いた高度化光通信ネットワーク技術	教授 高田 篤	工学
ナノ微小光学を用いた光計測技術および光機能材料・デバイスの開発	教授 直井 美貴	工学
ポストシリコン材料として期待されているグラフェンを用いた新構造・新機能デバイスの創出	教授 永瀬 雅夫	工学
固体におけるイオン伝導機構の解明と次世代超イオン伝導体の開発	教授 中村 浩一	工学
非線形振動回路網に発生する同期やカオスの解析手法の開発, およびその工学システムへの応用	教授 西尾 芳文	工学
宇宙暗黒物質, 二重ベータ崩壊など原子核・素粒子物理学を基盤とした宇宙科学の実験的研究	教授 伏見 賢一	工学
多様なエネルギー源を活用した持続可能な電力システムの創造と, 電力変換技術を応用したその高度な制御機器の開発	教授 北條 昌秀	工学
核磁気共鳴法を用いた, 強相関物理学分野における新奇量子現象の機構解明, およびその応用による機能性開発	教授 真岸 孝一	工学
人工知能を応用した各種システム(ロボット, 医療・福祉機器, 風力・太陽光発電, 農業支援システム)の制御および予測	教授 安野 卓	工学
デバイス物理をはじめ, デバイス設計, 試作, 評価などの手法を用い, ワイドバンドギャップ半導体デバイスとその応用に関する課題の研究	准教授 赦 金平	工学
新たな核磁気共鳴法の開発, および機能性材料への応用	准教授 犬飼 宗弘	工学
ニューロサイエンスで観測される高次元生体信号に対する非線形データ解析法の適用と新たな特徴抽出に関する研究	准教授 上手 洋子	工学
生体医工学分野における新たな生体計測・生体信号処理・生体モデリング技術の開発	准教授 榎本 崇宏	工学
単結晶・大面積をもつエピタキシャルグラフェンを利用した次世代型高感度バイオセンサの応用開発	准教授 大野 恭秀	工学

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野(願書記入時の学位の分野)
宇宙線観測のための測定器開発及び観測データ解析による宇宙線物理学の研究	准教授 折戸 玲子	工学
強相関電子系をはじめとした様々な新奇物質で現れる新しい量子相およびそれらに伴う磁気および伝導現象に関する研究	准教授 川崎 祐	工学
幅広く使用される動画の処理, 人工知能を用いた動画の符号化アルゴリズムや, 集積回路による低消費電力実装方法等の諸問題	准教授 宋 天	工学
各種放電プラズマの生成と計測技術, ならびにこれらを利用した環境浄化と医療応用に関する研究	准教授 寺西 研二	工学
ワイドバンドギャップ半導体材料を主とする物質の物性分析やレーザー照射による改質現象及び加工現象	准教授 富田 卓朗	工学
酸化物系ワイドギャップ半導体や新規薄膜太陽電池材料であるシリサイド系半導体の結晶成長およびデバイス応用	准教授 西野 克志	工学
回路設計・シミュレーション・チップ試作を用いた, 故障検査および検査容易化設計による集積回路の高信頼化手法の開発	准教授 四柳 浩之	工学
各種センサを用いた生体計測, 生体シミュレーション, 生体信号の解析等, 生体医工学に関する研究	講 師 芥川 正武	工学
半導体光触媒ナノ構造体の創成, 高機能材料と生命科学のためのプラズマエレクトロニクス技術の創成応用	講 師 川上 烈生	工学
機能性結晶合成および高圧物性計測技術開発による強相関電子系の新奇物性探索	講 師 久田 旭彦	工学

【知能情報・数理科学系プログラム】

知能情報・数理科学系プログラムでは中長期的な産業界や社会ニーズを踏まえ、知能情報工学や数理科学に関する最新の基盤技術・基幹技術・先端技術を理解し、グローバルな視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人・研究者・起業家人材を養成する。

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野(願書記入時の学位の分野)
情報処理分野における数理モデルの新たな同定手法の開発, およびそれらの定性的・定量的解析を数値計算により実現する方法の構築	教授 上田 哲史	工学
古今の論文を購読しつつ, 計算機などを用いた大規模な計算を通じた解析的な函数方程式の研究	教授 大山 陽介	工学
非線形現象に対する微分方程式や関数方程式の数理モデルと数理解析理論	教授 小野 公輔	工学
情報ネットワーク分野における新たな手法の考案, およびその応用によるネットワークシステムの開発	教授 木下 和彦	工学
マルチメディア工学分野における新たな手法の考案, およびその応用システムにおける検索・分類・教育支援機能の開発	教授 獅々堀正幹	工学
整数論分野における最新の研究や応用の調査および各種の問題に対する新たな実例や結果の発表	教授 高橋 浩樹	工学
高速かつ数値的安定性に優れた高精度数値計算法の研究	教授 竹内 敏己	工学
画像処理・コンピュータビジョン分野における新たな手法の考案, およびその応用による産業用画像処理法の開発	教授 寺田 賢治	工学
グラフ理論分野における構造的性質の解明, 構成的証明, 改善構成アルゴリズムの設計, 及びそれらの応用に関する考察	教授 蓮沼 徹	工学
ヒューマンセンシングとデジタル信号処理分野における新たな手法の開発, およびその応用による知的情報処理システムの開発	教授 福見 稔	工学
自然言語処理・情報検索分野における新たな手法の考案, およびその応用の開発	教授 泓田 正雄	工学
学習支援システム分野における人間中心デザインの新しいモデル, 手法, 技術の考案	教授 松浦 健二	工学
制御工学分野における新たな手法の考案, およびその応用による制御システムの開発	准教授 池田 建司	工学
実社会における問題を数理モデルにより構築する際に生じる大規模かつ複雑な最適化問題に対する効率的解法アルゴリズムの開発	准教授 宇野 剛史	工学
様々な運動方程式から由来する楕円型方程式および放物型方程式について, 解の存在および一意性, またそれらの解の性質の解析についての研究	准教授 大沼 正樹	工学
情報セキュリティや情報システム, ハードウェアにおけるモデルやシステムの開発と応用	准教授 佐野 雅彦	工学
情報工学分野, 特に進化計算, 機械学習の分野における新しい手法の開発およびその応用によるシステム開発	准教授 永田 裕一	工学
感性情報処理分野, 特に自然言語処理を用いた言語からの感情分析における新たな手法の開発, およびその応用	准教授 松本 和幸	工学

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野(願書記入時の学位の分野)
保型形式論における新たな手法の考案, およびその応用による整数論の発展	准教授 水野 義紀	工学
ヒューマンコンピュータインタラクション分野における新たな手法の開発, およびその応用による学習支援システム	准教授 光原 弘幸	工学
自然言語処理分野における新たな手法の考案, およびその応用による感性情報処理・知識処理技術の開発	准教授 森田 和宏	工学
人を支援するヒューマンインタフェースに関する研究開発, およびその開発に必要な情報処理・信号処理技術	講 師 伊藤 伸一	工学
情報処理分野における新たな手法の開発, およびその応用によるコンピュータビジョン	講 師 カルンガル ステイフィン ギディンシ	工学
平面曲線の埋込位相および関連した代数多様体の研究	講 師 白根 竹人	工学

【生物資源学系プログラム】

生物資源学系プログラムでは、中長期的な産業界や社会ニーズを踏まえ、農林畜水産業を地方創生の原動力として、我が国の持続的発展、国際競争力の向上、人類社会への貢献に資する高度専門職業人・研究者・起業家人材を養成する。

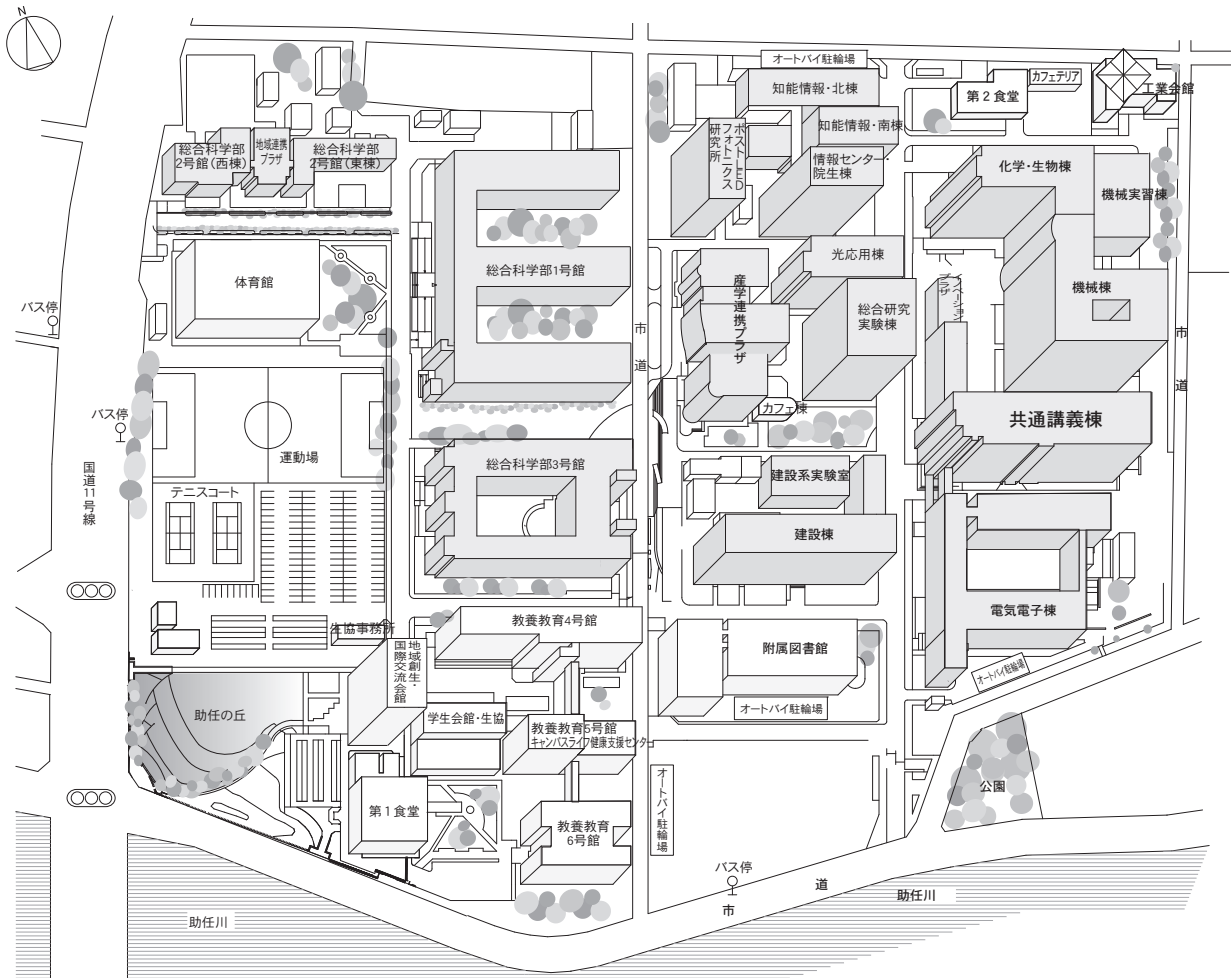
概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野 (願書記入時の学位の分野)
生殖工学による医療用動物およびモデル動物の開発	教 授 音井 威重	農学
代謝工学を活用した機能性化合物の微生物生産開発	教 授 櫻谷 英治	農学
健康の維持・増進および疾病治療に寄与する生物資源由来の機能性成分の探索とその有効利用	教 授 田井 章博	農学
胚発生における細胞分化・形態形成の基盤原理を理解するための研究	教 授 竹本 龍也	農学
食事性脂質の構造解析, 消化・吸収と代謝解析および生体調節機能の解明	教 授 田中 保	農学
バイオビジネス, アグリ産業, バイオエコノミー分野などに関する生物資源産業の創成	教 授 中澤 慶久	農学
森林微生物の代謝機構の解明と, それを基盤とした森林資源の付加価値の高い循環利用の構築	教 授 服部 武文	農学
ブタを用いた繁殖・育種・肥育と, そのアウトプットである食肉・食肉加工品の系統的研究	教 授 森松 文毅	農学
食品成分等の生体機能への機能性評価および健康長寿に寄与する機能性食品・サプリメント等への応用	准教授 赤松 徹也	農学
極限環境微生物由来酵素の機能と構造の解明と応用開発	准教授 川上 竜巳	農学
未利用資源および廃棄物の有効利用による有用物質生産法の開発	准教授 佐々木千鶴	農学
農作物や貴重な自然植生・植物個体の保護および生産性の向上や利活用に資する研究	准教授 佐藤 征弥	農学
ゲノム機能の理解を基盤とした昆虫資源の開発と活用	准教授 三戸 太郎	農学
食品の新規機能性の探索と機能性食品成分の体内動態並びに活性発現機構の解明	准教授 向井 理恵	農学
被子植物の分類や種分化および保全における諸問題に関する研究	准教授 山城 考	農学
診断/分析/センシング技術の開発につながる脂質の生物学的機能と化学的性質の理解	准教授 山本 圭	農学
動物生産における飼養管理システム開発と生産効率化に関する研究	講 師 平田 真樹	農学

【光科学系プログラム】

光科学系プログラムでは中長期的な産業界や社会ニーズを踏まえ、光科学に関する最新の基盤技術・基幹技術・先端技術を理解し、グローバルな視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人・研究者・起業家人材を養成する。

概 要	研究指導教員	学位に付記する専攻分野 (願書記入時の学位の分野)
光情報処理やセンシングへの応用を目指した、金属等のナノ構造体における光の振る舞いを利用するナノフォトニクスデバイスの研究開発	教授 原口 雅宣	工学
先進光機能素子および機能光回路による大容量光通信技術とその応用に関する研究	教授 藤方 潤一	工学
ナノ材料における超高速光応答過程の分光分析技術の開発や光機能材料の反応機構の解明について研究	教授 古部 昭広	工学
テラヘルツ波や光コムといった次世代フォトニクスを駆使した知的光計測と医光融合研究について研究	教授 安井 武史	工学
人に優しい情報環境の実現をめざし光学・映像分野における新たな手法の創出やその応用についての研究	教授 山本 健詞	工学
特異な光学特性を持つ光メタマテリアルの開発、及び表面プラズモンを利用した非線形ナノフォトニックデバイスの開発	准教授 岡本 敏弘	工学
光通信網の高度化と大容量かつ高効率な光伝送を実現する光信号処理技術、送受信技術、多重化技術等の新たな手法の創出	准教授 岸川 博紀	工学
光周波数コムを中心とした新規レーザー光源の開発や、それら最先端レーザー光源による新規光計測技術の研究	准教授 久世 直也	工学
高強度パルスレーザーを用いた新規ナノ材料の開発や、これらを用いた光デバイスの基礎研究	准教授 KOINKAR PANKAJ MADHUKAR	工学
ワイドギャップ半導体の超高温結晶成長技術を基盤とした、殺菌 LED など次世代半導体デバイスについての研究	准教授 永松謙太郎	工学
光と物質の新たな相互作用の探求、及びそれらを用いた新たな光計測法の創出	准教授 南川 丈夫	工学
医用光ナノ材料・デバイス設計とその顕微観察技術に関する研究	准教授 柳谷伸一郎	工学
ナノスケールの光計測技術・光材料開発と、それらを用いた先端光イメージング・センシング応用	准教授 矢野 隆章	工学
表面プラズモンと微小電気機械システムによる光イメージング・センシングソリューションについての研究	准教授 山口 堅三	工学

講義室配置図



知能情報・南棟
 1階 101～109
 2階 コース事務室, 201～214
 3階 301～313
 4階 401～413

知能情報・北棟
 1階 101～110
 2階 201～215

光応用棟
 1階 コース事務室, 101～108
 2階 201～212
 3階 301～311
 4階 401～412
 5階 501～511

工業会館
 1階 多目的室
 2階 セミナールーム
 メモリアルホール

総合科学部1号館
 1階 総合科学部事務課学務係 (大学院担当)
 1S01～1S28, 1M01～1M24, 1N01～1N11
 2階 コース事務室, 第2会議室, 第3会議室
 2S01～2S24, 2M01～2M19, 2N01～2N27
 3階 3S01～3S14, 3M01～3M24, 3N01～3N09

総合科学部3号館
 1階 コース事務室

機械棟
 1階 M101～M123
 2階 M201～M212
 3階 コース事務室
 M303～M326
 4階 M403～M427
 5階 M501～M528
 6階 M602～M625
 7階 M705～M720

化学・生物棟
 1階 M101～M108
 2階 コース事務室
 化学系会議室205
 M201～216
 3階 M301～M315
 4階 M401～M416
 5階 M501～M516
 6階 M601～M616
 7階 M701～M718

共通講義棟
 1階 東側 理工学部事務課学務係
 (大学院担当)
 西側 会計課 経理係
 中央 証明書自動発行機
 2階 K201～K206
 3階 K301～K309
 4階 K401～K407
 5階 K501～K507
 6階 K601, K602, 創成学習スタジオ

建設棟
 1階 A101～A118
 2階 生物資源産業学部事務課学務係
 (大学院担当), A201～A227
 3階 コース事務室
 A301～A323
 4階 A401～A421
 5階 A501～A521

電気電子棟
 1階 応接室
 コース事務室
 E101～E117
 2階 E201～E235
 セミナー室
 3階 E301～E330